

## 2010年度

科目名	ピアノS II			
担当教員	濱田 郁子			
配当	教福3		コード	45230
開期	通年	講時	木曜日5限	単位数 2
授業テーマ	ピアノ実技の向上(独奏・伴奏・弾き歌い…)			
目的と概要	<p>ピアノS Iで学習したピアノ演奏力、及び採用試験や教育の現場での伴奏や弾き歌い等の更なる上達を目指す。</p> <p>集団レッスンの中で、グループごとに別に定める年間カリキュラムに沿って教則本と保育曲を学ぶ。</p> <p>初見視奏やコード練習、及び基礎の音楽理論や指導者としての幅広い音楽能力や音楽性を養う。</p> <p>余裕があれば、自由曲や連弾なども取り入れたい。</p> <p>ピアノは普段の練習が最重要だが、講義内でも質問や演奏を聴く時間を多く取り、個々に適切なレッスンを行う</p>			
成績評価法	80% 実技試験（前期・後期） 20% 平常評価			
テキスト	第1回オリエンテーション時に、テキストを提示する			
参考書	必要に応じて資料(コピーなど)を配布する			
履修に当たっての注意・助言				
<b>講義計画</b>				
第1回 オリエンテーション	――― 1年間の講義内容を説明 グループごとの課題とテキストを提示 各自のピアノ経験や大学でのピアノレッスンの目的などを考え、一緒にグループを決める。 スン・個人指導・他			
第2回 レッスン開始	――― 講義・集団レッスン開始			
第3回	個人の演奏を聴く時間を多く設け、練習の成果を実感出来るレッスンを進める			
第4回	《必要に応じて、音読み練習や基礎的な音楽理論も学ぶ》			
第5回				
第6回				
第7回 個人発表	――― 人前での演奏に慣れる為、演奏会（模擬試験？）を行う			
第8回				
第9回				
第10回	前期試験約1ヶ月前に試験課題曲を発表			
第11回				
第12回	――― 試験課題曲を中心にレッスン			
第13回				
第14回				
第15回 まとめ				
第16回 後期開始	――― 後期課題を改めて提示 《音楽理論やコード伴奏、初見視奏なども取り入れる》			
第17回				
第18回				
第19回				
第20回				
第21回				
第22回 個人発表	――― 人前での演奏に慣れるため、発表会を行う。 保育曲については、自分が保育の現場の指導者と想定して弾き歌いする			
第23回				
第24回				
第25回 後期試験約1ヶ月前に試験課題曲を発表				
第26回				
第27回	――― 試験課題曲を中心にレッスン			
第28回				
第29回				
第30回 まとめ	(諸々の事情により、講義計画が若干前後する事も有る)			